



もとは720年に創建された妙観寺(みょうかんじ)という寺院でしたが衰退し、1395年頃、曹洞宗雲龍寺として再建されました。

本能寺の変で戦死した飛騨国主 金森長近(かなもりながちか)の長男 長則(ながのり)の菩提寺であり、1590年頃に長近が建物を修葺したと伝わっています。

雲龍寺鐘樓門(うんりょうじょうろうもん)は、1695年、高山城破却に伴い、二之丸にあった「黄雲閣(こううんかく)」という建物を下げ渡され、これが鐘樓門になったと伝わっています(雲龍寺記)。

(引用:<http://kankou.city.takayama.lg.jp/2000002/2000026/2001292.html>)



0001\_境内



0002\_境内



0003\_境内



0004\_境内



0005\_境内



0006\_境内



0007\_境内



0008\_境内



0009\_境内



0010\_境内



0011\_境内



0012\_本堂



0013\_本堂



0014\_本堂



0015\_看板



0016\_看板



0017\_看板



0018\_鐘楼門



0019\_鐘楼門



0020\_鐘楼門



0021\_鐘楼門



0022\_鐘楼門



0023\_鐘楼門



0024\_鐘楼門



0025\_鐘楼門



0026\_鐘楼門



0027\_鐘楼門



0028\_鐘楼門